学校番号	105

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	日本史Ａ　現代からの歴史　（東京書籍）						
副教材等	日本史のライブラリー　（とうほう）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

以下は、「日本史で好成績を収めるためにはどうすればいいか」という問いへの答えです。
・歴史の大枠を捉える～年表を作る意味はここにある
・歴史的事象について「なぜ」の視点を持つ～機械的な暗記ではなくストーリーを理解する

２　学習の到達目標

・諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
・現代の諸課題を、近現代史と結びつけ歴史的観点から考察することができる。
・日本の近現代の歴史展開をその時々の国際環境と関連付けながら理解し、政治、経済、国民生活や文化の動向についてその背景を含め考察することができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代の日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、現代日本の諸課題への関心と、国際社会に主体的に生きる市民としての自覚を持つ。	現代日本及び日本を取り巻く世界の諸課題を歴史的観点から考察し、その過程や結果を多角的･多面的な視点をもってまとめ、適切に表現している。	近現代の日本に関する諸資料を収集し、有用な情報を選び取り、そこから読み取ったことを図や年表にまとめたりしている。	近現代の日本の歴史の展開の大枠を理解し、これを同時期の世界の歴史と関連付けながら理解し、その基本的知識を身につけている。
評価方法	ワークシート レポート 主題学習	定期考査 レポート 主題学習	定期考査 ワークシート レポート 主題学習	定期考査 レポート 主題学習

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	私たちの時代と歴史	・私たちと歴史の結びつき (身近な生活文化から) ・開国までのあゆみ	○	○	○	○	a:現代日本の文化がどのように形成されたかを意欲的に考察し、歴史への関心を深めようとしている。 b:設定された主題について、多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された主題に関連する資料を収集し、有用な情報を選び図や表にまとめている。 d:近現代にいたるまでの日本の歴史展開を、世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
	近代日本の形成	・国際情勢の変化と明治維新 ・明治新政府の諸改革 ・立憲国家の成立	○ ○	○	○ ○	○	a:欧米諸国のアジア進出の中での日本の近代化の特色について意欲的に追求しようとしている。 b:日本近代の黎明期における諸改革や外交問題についてその過程や結果を多角的・多面的に考察し、適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、そこから読み取ったものを図表にまとめている。 d:日本の近代の始まりを世界の歴史と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート(年表作成)

2学期	東アジア世界の変動と日本	・日清戦争と近代社会の確立 ・日露戦争と帝国日本の形成	 ○	○ 	○ 	 ○	a:産業革命の展開による近代日本の発展について意欲的に追求しようとしている。 b:近代化による都市や村落の生活の変化や社会問題の発生について多角的・多面的に考察し適切に表現している。 c:諸資料を収集し、そこから必要な情報を選び、読み取ったことを図や年表にまとめている。 d：日清・日露戦争前後の国際情勢の変化や産業革命の展開に伴い欧米列強に並んでいった近現代の歴史展開を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート（年表作成）
	二つの世界大戦と日本	・第一次世界大戦と帝国日本 ・政党政治の時代 ・主題学習（地域の窓：通天閣と梅田の百貨店） ・軍国日本への道 ・太平洋戦争	○ ○ ○	 ○ 	 ○ ○ ○	○ ○ ○	a:設定された主題を通して大衆社会の形成について考察し、現代日本のつながりを意識してこれを意欲的に追求しようとしている。 b:両大戦をめぐる諸国家間の対立・協調や国内の経済動向、アジア近隣諸国との関係に着目して、この間の内外情勢の変化について、多角的・多面的に考察し、適切に表現している。 c:設定された主題について必要な資料を収集し、有用なものを選び取ってこれをまとめている。 d:両大戦における日本の動きとその歴史展開を世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート（年表作成）

3学期	第二次世界大戦後の国際社会と日本	・現代世界の開幕と日本の戦後改革 ・高度経済成長の時代	○	○	○	○	a:占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約締結と国際社会への復帰という一連の流れについて意欲的に追求し、国際社会に生きる市民としての自覚を持っている。 b:戦後の経済復興・高度成長がもたらした諸課題を歴史的観点から考察し、多角的・多面的な視点をもってまとめ、適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、そこから読み取ったことを図や年表にまとめている。 d:第二次大戦後の国際社会の動向と日本の復興を関連付けながら理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート(年表作成)
	現代の世界と日本	・国際秩序のゆらぎと経済大国日本 ・冷戦の終焉と日本	○	○	○	○	a:高度経済成長を経て生じた社会変化や冷戦終結後の国際環境の変化に関心をもち、意欲的に追求しようとしている。 b:現代日本及び世界の諸課題を歴史的観点から考察し、多角的・多面的な視点をもってまとめ、適切に表現している。 c:必要な資料を収集し、有用な情報を選び、そこから読み取ったことを図は年表にまとめている。 d:戦後の国際秩序が大きく変化する中で、その歴史的な展開の大枠を理解し、現代の諸課題についての基本的知識を実につけている。	定期考査 ワークシート レポート(年表作成)

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。